



平成28年 5月

Freewill 入試情報

Freewill通信 特別版

【平成28年度入試と現状】

いつもFreewill学習塾へのご理解とご協力をありがとうございます。

Freewill学習塾では、平成28年度入試の分析結果をもとに、これまでの傾向や変化について、みなさまにお伝えいたします。

高校受験という戦いをお子様自ら乗り越え、さらに成長し、将来につながる第一歩となりますよう、Freewill講師一同、精一杯お力添えいたします。

入試に関するご質問やご相談がございましたら、ご遠慮なく各教室までお問い合わせください。

都立入試の実情

平成24年度より、新学習指導要領による入試問題が導入され、難易度は上がり、点数が取りづらくなると一般的には言われてきました。しかし、現状、平均点の推移はさほど大きなものはなく、問題難易度としては、大きく変わっていないことがわかります。

	英語	数学	国語	理科	社会	合計
H・27	63.4	62.0	65.6	59.4	59.1	309.5
H・26	53.7	57.6	61.6	57.3	57.4	287.6
H・25	62.3	55.4	60.5	60.3	51.5	290.0
H・24	58.1	57.2	69.5	51.4	57.7	293.9
H・23	58.6	59.8	65.9	55.2	58.6	298.4

平成28年度については、マークシートの導入により、理科・社会の平均点が下がると言われています。ただし、問題としては大きな変化はありませんので、対策を入念に行うことが重要となります。

※平成28年度の平均点につきましては、6月半ばの公表予定となりますので、追ってお伝えいたします。

私立高校を目指す方は・・・

私立高校の入試問題は、一校一校独自の色があり、傾向や対策も問題の種類によって変わってきます。過去問から傾向をしっかりと分析し、志望校に合わせた綿密な対策を行ってまいります。私立高校を第一志望とされることをお考えの場合は、お伝えください。

倍率の推移

年々、都立高校の倍率は上がる傾向にあります。また、以前は中堅層だと思われていたような学校でも、現在は人気高として高倍率を毎年更新するような学校も出てきています。

H・28	1位	2位	3位
男子	秋留台(2.26)	青山(2.14)	東村山(2.02)
女子	広尾(2.68)	目黒(2.33)	東村山(2.24)

以前は平均点程を取れば合格する、と言われていたようなところも、今では合格しづらくなっているのが現状です。そのため、高倍率の学校を志望校とする場合、学校成績が基準となる内申点に達した上で、入試得点**70点～80点**を目指す必要があります。

合格した子はどう勉強していたのか

志望校に合格した子は実際どんなことを心がけ勉強していたのでしょうか。これまでに、目標達成をしている子の特徴をまとめました。

①目標が明確である

自分の目指すものがはっきりすると、何をすればいいかが明確になります。目標から逆算して、その時すべきことを常に把握することが大切です。

②自身の現状をしっかりと把握している

今の自分が目標に対してどのくらいのところにいるのかを把握している子は、次にやるべきことを自分で見つけることができます。

③1日3時間以上の勉強

演習量を確保することが身につく勉強をすることの鍵となります。6月から少しずつ勉強体力をつけ、入試本番の時間に耐えられる身体を作りましょう。

④朝型の生活

自分は夜型だから朝は頭が働かない、と言っている子をたまに見かけます。入試本番は朝早くからスタートです。そこに100%の自分をもってこれる習慣を今からつけておきましょう。

Freewill学習塾では、毎年、お子様が目標達成し、受験を通して大きく成長してもらえるよう、全力で学習指導・進路指導にあたらせていただきます。入試に関する情報につきましては、今後も随時みなさまにお伝えさせていただきます。ご質問やご相談はいつでもご連絡ください。